

無惨 桜全部伐採。原町政が実施

小川ゆうじの
「しんぶん赤旗」
読者だより

大阪田尻町議
小川雄司



田尻町支部活動募金
1口200円のお願

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜正午
465-9939

7月の弁護士相談は
11日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要
です

(部内資料)



撮影 5月30日

「桜の精」になりかわって考えました



撮影 7月7日

「私は桜の精、私の無惨な姿をお見せしたくないけど、私のような目にあうなまをくりたくないので、うったえます。私は、田尻町で17年前、新しくできた、りんくうタウンの住宅地をむすぶ町道の歩道に他の28本の桜といっしょに植えていただきました。

私が元氣よく育ちたいために、水を求めて根をもたげながら、大きくなつてきました。夏の暑さをささえり、春は、遠くに行けないお年寄りのみなさんも、ここに桜があると喜んでいただきました。精一杯の花を咲かせました。今回、私たちのなかまのうち、9本が歩道を持ち上げ迷惑をかけていることで、共産党の議員さんがおこなったアンケートに、よくして下さい。とご意見を

「これは、ホントまちがつてるよ」と通行人

桜の木の根上りによる歩道の凸凹を修繕するためとして、まず手はじめに桜を伐採する工事が7日から始まり、9日までに全部伐採されました。私は7日昼3時過ぎ頃に作業現場にたちどまり、通行人に感想を聞きいてみました。

集団下校中の中学男子は「さみしくなったと思う」

年配の男性は、「これはホントまちがつてるよ」また別の年配の男性は「バチがあたつたらええの」と言い放ちました。朝の散歩時などに通行人どうしが、工事現場で今回の工事について批判する意見を口々に言い合っているといひます。

大型台風襲来にそなえ、地域点検しました

今後もお気づきのところはお知らせください。

災害が少ない大阪泉州地域にも大型台風は直撃しそうな様子でした。近頃は1時間に50ミリを超えるゲリラ豪雨も発生しており、この台風がどのくらいの雨量をもたらすのか、雨水・汚水とも市街化区域の下水道整備をおえているとは言え、油断できません。共産党議員団（小川・吉開）は、9日水午後から車で田尻町全域をまわり、地域点検をおこないました。

この活動で、防犯灯の切り替え1ヶ所、府営芦原住宅から嘉祥寺墓地に抜ける町道の草刈りを担当課に要請しました。

「歩道をより広くするために全部切る」原町政

どう考えても道理が通らない 原町政の桜全部撤去

○今の歩道幅で電動車いすも通れるし問題がない。

○老人のシルバーカーやベビーカーも通る歩道緑陰（緑による日陰）をなくすことで快適性がうばわれる。地球温暖化対策とも逆行している。

○「既存の公園・緑地の充実」を掲げる町総合計画ともあわない。

○専門家によれば、植樹後17年もたち現在でも根上りをおこしていない桜は、今後、根上りを起こす可能性が低い。

○6月16日の入札結果、桜全部撤去・歩道整備工事は、総額720万円、1本あたり約23万円。根上りした桜だけを治し、歩道も整備する専門工法は、1本あたり約15万円で実施可能でした。（小川議員が専門業者から聞き取り、6月町議会の一般質問でただしまた）